

令和2年度第3回千葉市行政改革推進委員会 議題資料

- 1 提言書の位置づけについて
- 2 本日の論点
 - ①提言書の構成等について
 - ②提言の取組事項
 - ③付言内容について
- 3 提言後のスケジュール

1 提言書の位置づけについて

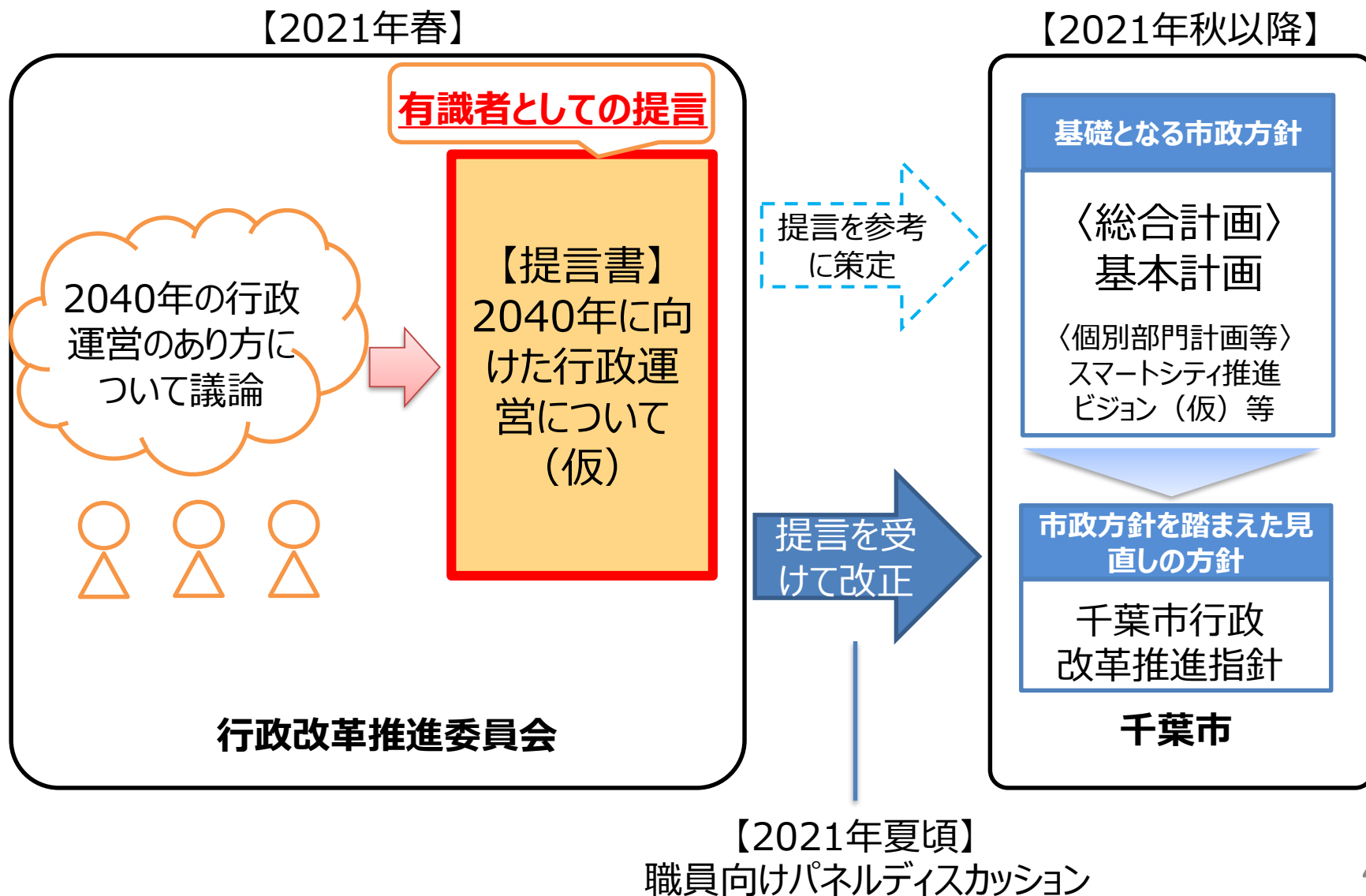
2 本日の論点

- ①提言書の構成等について
- ②提言の取組事項
- ③付言内容について

3 提言後のスケジュール

1 提言書の位置づけについて

■ 提言書の位置づけ



1 提言書の位置づけについて

2 本日の論点

①提言書の構成等について

②提言の取組事項

③付言内容について

3 提言後のスケジュール

2 本日の論点 ①提言書の構成等について

1 はじめに

2 将来を見据えた行政運営のあり方を検討する必要性

- (1) 背景
- (2) 検討の必要性

3 課題と解決の方向性

- (1) 課題
 - ア 人口減少
 - イ 単独世帯の増加による「個人」を単位とした社会への変化
 - ウ 2040年を見据えて千葉市が抱える課題
- (2) 解決の方向性
 - ア 多様な主体との共創
 - イ デジタル技術・社会資源の活用
 - ウ 行政の役割の変化に対応できる職員の育成

4 提言

- (1) 2040年に目指すべき姿
「市民一人ひとりにとって最適で納得できる公共サービスを地域と共に創るスマート自治体」
- (2) 基本的な方針と取組
 - ・基本方針 1 「市民・企業・NPO・市民団体等の多様な主体の参画を促進」
 - ・基本方針 2 「様々な社会資源を積極的に活用して市民がより良い行動や判断ができる環境を整備」
 - ・基本方針 3 「組織の枠を超えた発想で場と関係づくりができる職員の育成」

5 おわりに（職員の皆さんへ）

1 提言書の位置づけについて

2 本日の論点

①提言書の構成等について

②提言の取組事項

③付言内容について

3 提言後のスケジュール

基本方針 1 市民・企業・NPO・市民団体等の多様な主体の参画を促進

■具体的な取組

カテゴリ (目的)	取組事項
参画機会の 創出	・課題発見、解決策検討の段階から容易に参画できる仕組みづくり ・行政による施策選択に当たっての市民参画を容易にするための基盤検討 ・柔軟に多様な主体と連携できる仕組みづくり
参画の効果を高 める仕組みづくり	・職員による効果的なアジェンダ設定能力の向上 ・意思決定の透明性・迅速性を高める取組（OODAループ等） ・参画した結果の反映状況の透明性を高める仕組みづくり
業務プロセスの 見直し	・市民が議論し、政策に反映できる仕組みづくり ・費用対効果の低い業務の廃止、集約

基本方針 2

様々な社会資源を積極的に活用して市民がよりよい行動や判断ができる環境を整備

■ 具体的な取組

カテゴリ（目的）	取組事項
地域資源の可視化	・行政保有情報のデータ活用の推進（オープンデータ、匿名加工情報等を市民と共に実現） ・ベースレジストリ※等の考え方を取り入れたデータ項目の整備 ・地域資源の有効活用を自発的に考えることができる情報提供
ICTリテラシーの向上	・市民等のICTリテラシー向上に資する取組
市民に手間をかけないサービスの提供	・プッシュ型サービスの提供 ・対話型サービスの提供（申請形式ではなく質問形式によりサービスを受けられる仕組み等）

※ベースレジストリとは、公的機関等で公開され、様々な場面で参照される、人、法人、土地、資格等の社会の基本データであり、正確性や最新性や確保された社会の基幹となるデータベース。

基本方針3 組織の枠を超えた発想で場と関係づくりができる職員の育成

■具体的な取組

カテゴリ（目的）	取組事項
職員が働きやすい環境の整備	・テレワーク環境の整備等、場所を選ばない働き方の実現 ・在宅勤務制度や評価の仕組みなど、制度面で新しい働き方を支援 ・庁内横断型の横串の仕組みの強化 ・ICT活用による内部事務処理の自動化、作業負荷軽減、業務知識支援 ・各現場のICT活用を支援する体制・環境づくり
全ての職員が活躍できる組織風土づくり	・前例に捉われずに柔軟に考えることの奨励（議論の場の設置等） ・地域で活躍する職員を制度面、組織面などで支える仕組み ・サービスデザイン等専門職の外部人材の登用
職員の成長のための支援	・研修や先進団体への出向、NPO等への副業活動による職員育成 ・定型人材から創造型人材への意識変革 ・組織の枠に捉われない発想で課題を検討できる職員の育成 ・多様な主体と共に創り上げるためのソフト面の能力の向上（ファシリテーション能力等） ・ICT等の専門職員を育成・評価できる体制づくり

1 提言書の位置づけについて

2 本日の論点

①提言書の構成等について

②提言の取組事項

③付言内容について

3 提言後のスケジュール

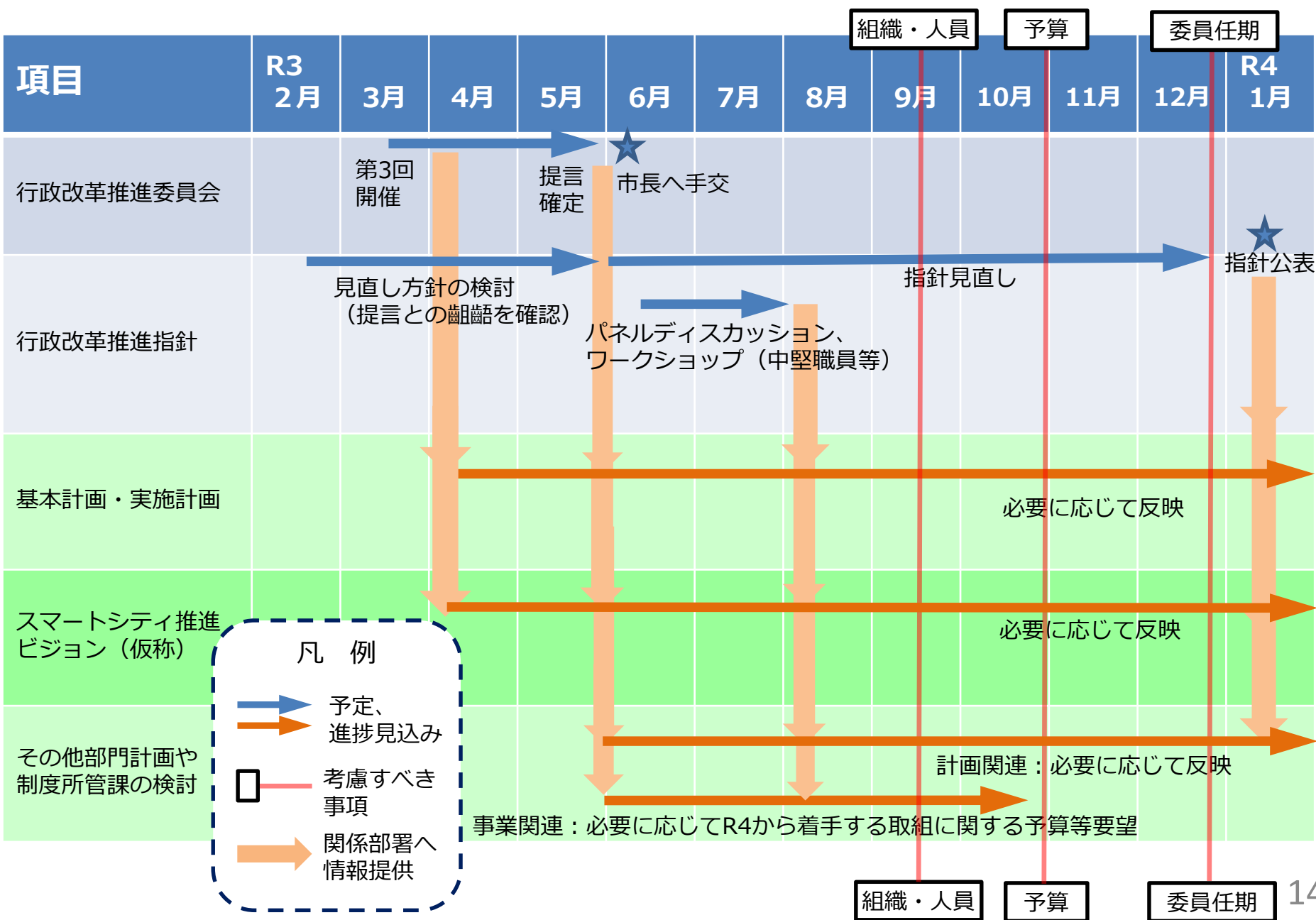
■おわりに（職員の皆さんへ）

これからの行政運営のあるべき姿と求められる職員像を「4 提言」でまとめましたが、多様な主体との共創を実現するために、職員 みなさんに特に意識していただきたいのは、誰かに命令されたり指示されたりするのを待つことなく、自分自身で能動的に何が問題なのか、何ができるのかを考える「**自発性**」と、問題解決に至るまでの過程で、価値観の違う様々な人と共に考え、市役所の論理だけでなく、相手の論理を理解し、尊重できる「**相互理解**」の力です。

このことを意識しながら、職員 みなさんがますます活躍されますことを切に願っております。

- 1 提言書の位置づけについて
- 2 本日の論点
 - ①提言書の構成等について
 - ②提言の取組事項
 - ③付言内容について
- 3 提言後のスケジュール

3 提言後のスケジュール（事務局案）



■ビジョンの名称について

(例) ちばし S M A R T 市役所ビジョン

S 市民や地域の

M みんなで

A アイデアを出し合い

R 理想的な公共サービスを

T 共に創る